

データ利活用等のデジタル化の推進による社会課題・地域課題解決のための実証型研究開発

細粒度ごみ排出量データを活用した地域ごみ管理・収集・減量のデジタル推進基盤「ごみゼロ湘南」の研究開発

研究概要：ごみ管理・収集・減量のデジタル化を推進するため、本研究開発はごみ収集動画からごみ排出量をセンシングする技術を智能IoTとリアルタイムエッジ処理技術の融合によって実用化し、数十台の清掃車をIoT化した日本初の小地域別（細粒度）ごみ排出量センシング基盤を構築する。ごみ排出データに加え、地域・社会・環境の異分野データと連携したごみ排出量解析基盤を開発し、ごみ排出量の推定と見える化を生かしたごみ排出行政管理、ごみ収集及びごみ減量デジタル化に資するサービスを創出する。湘南地区の市職員・収集業者・住民が携わる実証実験の実施により有効性を検証する。

① 細粒度ごみ排出量センシング



地域・社会・環境
データ



地域・社会・
環境データと
連携した細粒
度ごみ排出量
解析基盤

② ごみ排出管理・収集・減量の「見える化」

ごみ排出
行政管理支援
サービス



ごみ収集支援
サービス



ごみ減量支援
サービス



③ 「ごみゼロ湘南」の実証実験

【研究開発期間】 令和4年度から令和6年度まで

【受託者】 学校法人慶應義塾（代表研究者）、学校法人廣池学園 麗澤大学